

平成25年度決算審査

滞納対策の体制強化を

監査委員の指摘

代表監査委員 後藤洋次郎
議会選出監査委員 西山富三郎

①町税などの延滞金
収納額93万円は、滞
納となった税の収納
額と比べると著しく
少ない。必要な対策
をとらねたい。

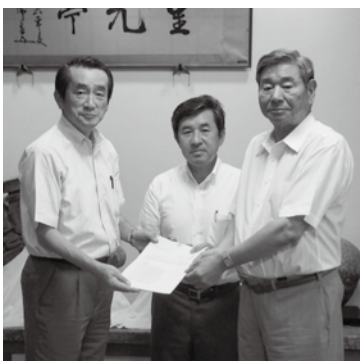
回収が十分すすんで
ない。

④人権推進課長と中
高ふれあい文化セン
ター館長の兼務があ
る。未収貸付金回収
を促進するためにも
改善をはかること。

⑤スクールバス利用
可能地域にもかかわらず、路線バス利用
の生徒に対する定期
代補てんは、見直し
が必要である。
また、教員の修学
旅行に係る経費は県
が支払うべき性格の
ものである。
各種補助金は、安
易にこれまでの慣習
とせず、見直してい
ただきたい。

②時効による不納欠
損処理の中に、滞納
処分や停止手続きを
行なわず時効が完成
したものがある。誠
実に納税する町民と
の公平上、的確な対
応をされたい。

③住宅新築資金等貸
付金の返済未収額の



監査意見書を町長に提出

議会の意見

決算審査特別委員会

審査の結果、次の
意見を付し、付託を
受けた18議案すべて
認定すべきとした。

①平成25年度は、景
気の回復から法人税
が増加し、また有利
な補助金や起債を活
用した事業により、
安定した財政運営が
はかられた。

未収金がある。
滞納対策室と担当
課との連携を密にし、
実態調査・督促など
を確実に実施されたい。

③大山恵みの里づく
り計画策定後8年、
農林水産業と連携し
た新たな観光地の姿
が今なお見えない。
公社は組織体制強
化と効率化、観光局
は客のニーズに応じ
たツーリズムの取り

②町税や住宅新築
資金等貸付金など、
5億6千万円余りの



課題の多い大山診療所

組みに努められたい。

④大山診療所は、赤
字が拡大している。
固定医の是非も含
め、根本的なあり方
を検討されたい。